

令和4年度「未来の教室」実証事業 公募要領  
 (テーマB. 「STEAM ライブラリー活用事例創出」に関するテーマ)

よくあるご質問

質問		回答
①	STEAM ライブラリーのコンテンツ制作事業者以外も応募可能ですか。	応募可能です。
②	実証フィールドについて、対面ではなく、複数の学校をオンラインでつなげるようなフィールドの設定の仕方は可能ですか。	設定可能です。
③	STEAM ライブラリー活用事例創出の一環で、教員研修などを実施することは可能ですか。	教員研修の実施も可能です。追加要素の提案は自由に行っていただいて構いません。
④	応募段階でどの程度連携が固まっているべきですか。(連携先が無くても提案可能ですか。)	○民間事業者・個人の場合：STEAM ライブラリーのコンテンツを活用した事例創出に関する提案があり、学校等教育機関と連携できていない場合についても提案は可能です。 ○学校等教育機関の場合：本事業に関心が有る場合は、マッチング希望書に記載の上、ご応募ください。
⑤	STEAM ライブラリーの活用促進において見えている課題と、それを踏まえた本事業での目標は何ですか。	本年3月に STEAM ライブラリーのリニューアル版をリリースしたところ、これからはSTEAMライブラリーの認知度の向上・活用促進を図るべく、本事業で事例を創出し、他の学校・地域等での横展開ができるよう、活用にあたってのポイント抽出を行うことを本事業では目指しています。
⑥	提案規模に制約はありますか。	提案段階ではございません。 公募締切後、審査・採択後のプロセスで、外部有識者のコメント等を踏まえて、提案内容・事業規模等は変わる可能性があります。
⑦	事業全体の流れはどのようになるのか。	○学校等教育機関と連携された状態で応募される場合：公募終了後、有望な提案と事務局が判断した提案について事務局と提案内容を磨き、事務局および外部有識者の評価を経て採択、契約締結、事業開始となります。 ○マッチングを希望する場合：公募終了後、マッチング希望書に沿って学校等教育機関と民間事業者・個人のマッチングを行い、マッチング確定後に契約締結をし、事業開始となります。マッチングを希望してもマッチングの機会がない可能性があることには予めご了承下さい。 ※あくまで例であり、事務局とのヒアリング等を踏まえて、採択後の流れは変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

⑧	「事業者と学校等のマッチング」はどのように行われますか。	事業者の提案内容や、学校等教育機関のマッチング希望書を元に、事務局にて総合的に判断し、マッチングを行います。希望してもマッチングの機会がない可能性があることには予めご了承ください。
---	------------------------------	--